



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市西総合スポーツセンター
 試合区分：成年女子 2回戦
 開催期日：2009年10月3日(土)
 開始時間：13:30

GAME No. 1003B3

主審：上田 信彦
 副審：高橋 正博

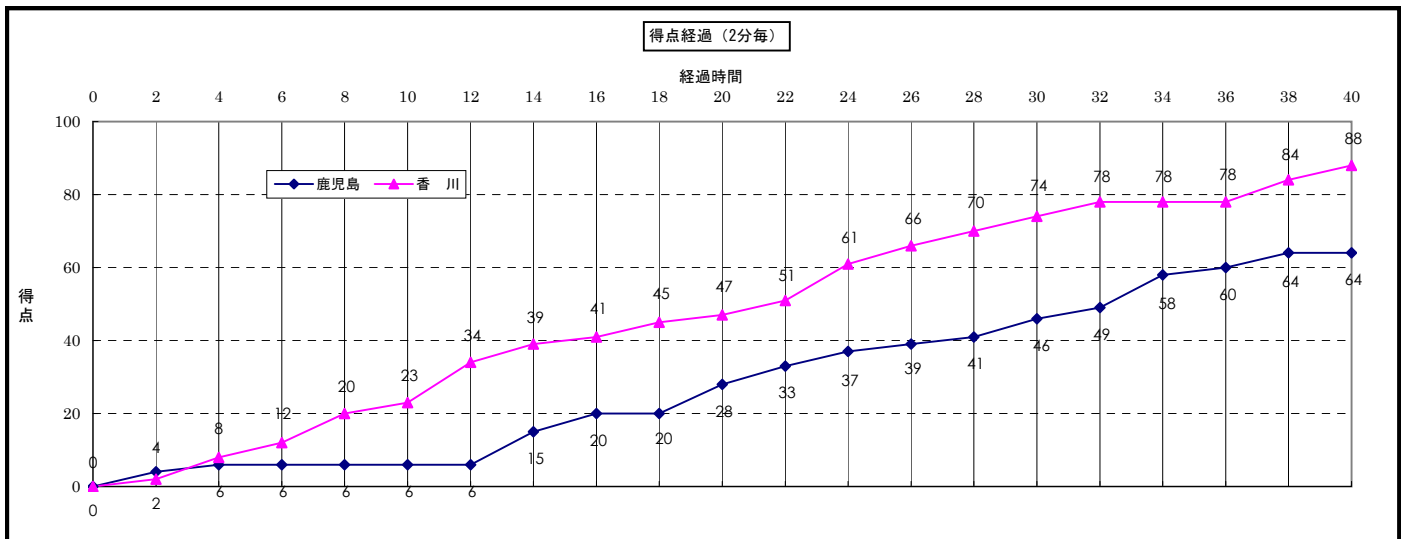
Team A	●		○	Team B
鹿児島	64	6 -1st- 23 22 -2nd- 24 18 -3rd- 27 18 -4th- 14	88	香川

TEAM A		鹿児島					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	黒崎 梢	0	0	0	0	0
5	*	東 美千代	9	1	2	2	1
6	*	中園 真紀	14	3	2	1	1
7		矢崎 明子	0	0	0	0	1
8		濱上 由紀	3	1	0	0	0
9		庵下 晃代	4	0	2	0	0
10		金子 芽子	5	1	1	0	2
11	*	永山 深結	15	3	3	0	1
12		岩川 有沙	0	0	0	0	0
13		濱田 梨愛	2	0	1	0	2
14	*	山元 真理子	12	0	6	0	0
15							
Coach		吉川 覚					0
TOTAL			64	9	17	3	8

TEAM B		香川					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		福家 未奈	0	0	0	0	1
5	*	井上 望	11	1	4	0	3
6		大林 裕子	8	2	1	0	2
7		三井 紗弥香	2	0	1	0	0
8	*	松井 恵利納	8	0	4	0	1
9		中川 みどり	2	0	1	0	0
10		安部 友美	4	0	2	0	0
11	*	東原 綾那	10	2	1	2	2
12		三谷 彩	0	0	0	0	1
13	*	井上 愛	24	4	5	2	1
14	*	宮崎 成美	19	1	8	0	3
15							
Coach		井上 晃					0
TOTAL			88	10	27	4	14

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	7:39	11:35	27:49	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	9:57	14:10	-	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

昨日好ゲームを物にした鹿児島が #14山元のシュートと丁寧なマンツーマンディフェンスからリズムをつかむ。一方、香川はターンオーバー3と立ち上がり苦しみながらも、#5井上のドライブで得点を決めると粘り強いマンツーマンディフェンスから足を使ったバスケットを展開。香川の勢いは止まらない。鹿児島は #5山元のシュートがごとくゴールに嫌われる、イヤな雰囲気。ボールをインサイドの #11永山、#14山元に集めるが、得点につながらず、残り2分6-20、14点差でたまたまタイムアウト。何とか得点を上げようと試みる。しかし、リズムのよい香川の前では、1Q6点にとどまる。

2Qに入ってもインサイドのオフェンスに苦しむ鹿児島に対して、香川は相手のこぼれ玉を丁寧に拾ってファーストブレイクにつなげる、走るバスケットを実践。残り8分では26点差まで突き放す。特に #14宮崎オフェンス・ディフェンス両面での確実なプレーが目をつけた。鹿児島は1Q同様マンパーチェンジで何とか活路を見出そうとするが、依然ゲームの流れに変化はない。#6中園3Pを中心にアウトサイドからの応戦が精一杯な状況のまま、19点のビハインドを背負う。

後半スタートは落ち着きを取り戻した鹿児島が、#14山元のインサイド、#11永山のドライブを中心に追い上げを図る。しかし、香川は前半からの走るバスケットに衰えは見られず、むしろスピードに一段と磨きがかかり、更に #13井上の3Pを武器に加え、攻撃の手を緩めることなく、淡々と得点を重ねていく。3Q終了46-74。

劣勢に立たされた鹿児島は、上3人のガード、フォワード陣を交代させ、アウトサイドからのシュートとファーストブレイクにオフェンスを絞り、最後のチャンスをつかみに行く。逆に香川は疲れの見える残り6分で58-78の20点差まで詰められ、攻撃に精彩を欠く。そこで鹿児島は更に残り4分でフルメンバーチェンジをして畳み掛けようとする。しかし、最高の形で4Qを迎えた香川は、途中多少足は止まったものの、落ち着いたゲームコントロールと #6大林の3Pで鹿児島の追撃を64-88で振り切った。

記載責任者	猪股 正司	(所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-------	------	---------------